



# 第3回 尻別川流域委員会が 平成21年9月16日に開催されました。

平成19年3月に長期的な河川整備の基本となるべき方針を示す「尻別川水系河川整備基本方針」が社会資本整備審議会河川分科会の審議を経て決定しました。

北海道開発局は、この基本方針に基づき、「尻別川水系河川整備計画(大臣管理区間)」を策定するにあたり、学識経験を有する方々にご意見をいただくために「尻別川流域委員会」を設立し、下記の通り第3回を開催しましたのでお知らせします。

日時：平成21年9月16日 13:00～15:30

場所：蘭越町ふれあいプラザ21



## ■第3回尻別川流域委員会の主な議事内容

1. 第2回流域委員会の補足説明について
2. 尻別川水系河川整備計画(原案)の修正案
3. その他

## 議事要旨(主な意見)

### 1. 第2回流域委員会の補足説明について

- ・ 資料2のP12に「見直し環境基準BOD2mg/L」と記載されているが、P14と同様にいつ改正が行われたか、このページにも説明を記載したほうがよいのでは。
- ・ 「河道の掘削のイメージ図」にスケールの表記があるが、「縦横比」などの名前を付けた方がわかりやすい。縮尺比も表しているのであれば桁を間違えているのでは。
- ・ 費用対効果の算定の考え方について、分かりやすく説明していただきたい。事業前と事業後の差分が事業の効果ということで良いのか。
- ・ 費用対効果の現在価値化について説明を願いたい。
- ・ 費用対効果を算出するときの維持管理費は、整備期間20年間で現在価値に直したとしても少ないのではないか。
- ・ 費用対効果の算定結果を表した図はわかりにくく、誤解を与える可能性がある。
- ・ 河道内樹木に関して「平水位程度でヤナギの種子撒布期に掘削箇所が冠水することになり、種子の定着しにくい状況になる」とあるが、冠水だけでは効果がなく、堆積した種子が流されることが抑制に必要である。

## ■尻別川流域委員会 委員名簿 (五十音順、敬称略)

氏名	所属	出席
岡村 俊邦 <small>おかむら としくに</small>	北海道工業大学 環境デザイン学科教授	●
許士 達広 <small>きよし たつひろ</small>	北海学園大学 社会環境工学科教授	●
長澤 徹明 <small>ながさわ てつあき</small>	北海道大学大学院 農学研究院教授	
長谷川 和義 <small>はせがわ かずよし</small>	(株)北開水工コンサルタント 先端技術開発センター所長	●
濱田 暁生 <small>はまた あきお</small>	(株)シー・アイ・エス計画研究所 代表取締役会長	●
眞山 紘 <small>まやま ひろし</small>	(社)北海道栽培漁業振興公社 技術顧問	●

◎：委員長、○：副委員長、●：第3回尻別川流域委員会出席者



- ・アユの分布の北限は天塩川だが、生息資源量が確保されている北限が余市川、その次が尻別川であるので、そのような表現をしたほうが北限に近いという言い方が理解されやすいのでは。
- ・羊蹄山ろくの調査地点での湧水量は名駒地点の湧水流量の1/4とのことだが、羊蹄山に係る流域面積が名駒地点の流域面積のどれ位にあたるか比較を行うと、羊蹄山の効果がより鮮明になる。
- ・資料2のP7～P11は尻別川の特徴の背景をわかりやすく説明している資料となっているので、整備計画の本文を読むときの参考になればよいと思う。

## 2. 尻別川水系河川整備計画(原案)の修正案

- ・「河川景観の保全と形成」の写真は、河川景観の何をあらわしているのかがわかりにくい。
- ・「河道内樹木の管理イメージ図」はヤナギとそれ以外の木を描いて、ヤナギを選択的に伐採しているような図にすると、文章が視覚化されて良いと思う。
- ・P12原案P48の(4)河川空間の適正な利用・管理は「…羊蹄山を背景とした豊かな自然とすぐれた景観の保全・形成に努め」に修正すべき。
- ・住民から寄せられた意見に対しては、修正案に反映してあるというトータルの説明と、この点についてはこのようにしたというような個別の対応をしているのか。
- ・住民意見に書かれている「人工波を発生させるセクション」のセクションとは何を意味しているのか。
- ・住民意見の中に「おいしい米を作るために必要な水の確保に努めて欲しい」という意見があり、これまで塩水被害の話もあったと思うが、その対策については原案のどこに反映されているか。
- ・塩害の防止については、原案P48の水質事故の対応のところに記載できないか。
- ・用水の安定確保と水質の変化による被害については質が違うと思う。水質の変化による被害に関しても考慮しているという表現があったほうがよいのでは。

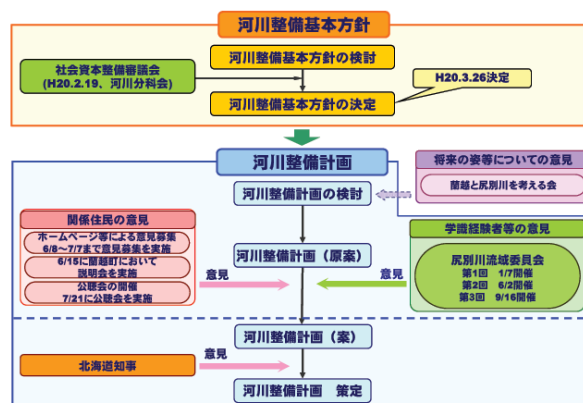
- ・今回までの委員会で、尻別川河川整備計画の策定にあたり当委員会が述べるべき意見は出尽くしたと判断し、当委員会を終了としたい。個別に相談すべき事案については、関連する委員にもご相談しつつ、その取扱いについては委員長にお任せ頂きたい。



## 3. その他

今後のスケジュールについて事務局から説明

- ・委員会でのご意見、住民の方からのご意見を踏まえて、必要な反映を行い河川整備計画(案)とします。河川整備計画(案)について、知事のご意見を伺って河川整備計画策定となります。



「尻別川河川整備計画策定までの流れ」



尻別川流域委員会事務局

北海道開発局 小樽開発建設部 工務課

〒047-8555 小樽市潮見台1丁目15番5号 TEL 0134-23-5195 FAX 0134-23-5236

URL <http://www.ot.hkd.mlit.go.jp/>

尻別川流域委員会の資料は小樽開発建設部のホームページからでもご覧頂けます。